

## 第2回特別講義 「アクティブラーニングで解剖学を学ぶ」

講師 三重大学 教養教育機構/医学部 准教授 太城 康良

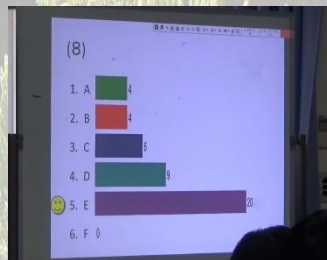
実施日 12月14日(水)



↑ 講義の様子



↑ クリッカーを使った回答



↑ プレートを使った回答



↑ グループでの討論



↑ テスト実施

本特別授業では、講師から一方的に講義を受けるだけでなく、グループ討論や「クリッカー」、「番号プレート」、「スクラッチカード」などを通して生徒と講師が双方向的な授業を行うアクティブラーニングを行いました。

講義の中で一番印象に残ったのは、「生物、物理、英語・・・は別の物だと思っている人がいるかもしれないが、例えば骨と力の関係、生物学モデルと二次関数のようにいつかどこかで必ずつながってくる。それまで高校でしっかり勉強してください。」という太城先生の言葉です。目の前のことだけを見るのではなく、先のことも考えて過ごさないといけないと思いました。

授業の最後にはテストを実施しました。個人テストでは全問正解できなかった人もいました。しかし、その後、グループで話し合っ各グループで回答をしたところ、全グループが全問正解しました。このことから、人と話し合うことの大切さを、身をもって実感しました。